

## 英語英米文学専攻（博士前期課程）

### 1. 教育研究上の目的

英語英米文学専攻は、英語学・英語圏文学の高度で包括的な専門知識を修得させ、論理的で実証的な説明能力を育成し、グローバル化する現代社会において自立的に専門知識を活用できる人材を養成する。

### 2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

英語英米文学専攻（博士前期課程）では、履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「修士（英語英米文学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. 英語で書かれた研究文献を的確に理解することができる。
2. 自らの研究成果を英語で発表できる。

（思考・判断・表現）

3. 専門的研究を通じて、文化、社会、人間について批判的に分析する能力を有する研究者として社会に貢献することができる。

（関心・意欲・態度）

4. イギリス文学・アメリカ文学・英語圏文学、英語圏文化、英語学、英語教育の研究分野に関して包括的な専門知識を修得し、方法論的検討をしつつ特定の専門的研究テーマに取り組む意欲がある。

### 3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

英語英米文学専攻（博士前期課程）では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成します。

（教育内容）

1. 英語学、英米文学の包括的な専門知識を修得するため、「英米語学演習」「英米文学演習」「英詩演習」を配置する。（知識・技能）
2. 論理的で科学的な説明能力を修得するため、「特殊研究」を配置する。（思考・判断・表現）
3. 英語学、英米文学の専門知識に関し、本専攻カリキュラムと補完的な知識・技能を身につけるため、他大学院研究科との相互交流協定を通じて相互の履修及び単位の修得

ができ、学外の研究機関の設置する課程・研修会等の履修により設定された単位の履修を認める。(知識・技能／関心・意欲・態度)

(教育方法)

1. 講義科目では、幅広い知識を修得させることを目的として、講義法を採用する。
2. 演習科目では、学生自身のプレゼンテーション及び論文作成能力を向上させるため、アクティブ・ラーニングを取り入れた演習を採用する。
3. 指導教授が、きめ細かな研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。

(教育評価)

1. 知識・技能の修得に関しては、修士論文による研究成果の審査を通じて評価する。なお、その審査にあたっては、別に定める審査基準に基づいて、総合的に判断する。
2. 講義科目において、具体的な問題に関する報告及び討論を行うなかで、論理的かつ科学的な説明を行う能力、十分に根拠づけられた説得的な議論を構築する能力、及び他者との議論の中で妥当な結論を導いていく能力を測る。
3. 指導教授による演習科目において、自らの知識と思考を用いて具体的な問題を検討し、解決しようとする姿勢と能力を測る。そして、修士論文の審査を通じて、より専門的な学問的能力についての評価を行う。

#### 4. 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

英語英米文学専攻(博士前期課程)では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 卒業論文執筆や学部授業科目の履修を通じて英語圏の言語・文化(文学も含む)・社会全般に関して基礎的な知識を広く有している。
2. 抽象的な話題についても英語で理解でき、自らの考えを説明できる英語能力を習得している。

(思考・判断・表現)

3. 研究課題を主体的に見出し、具体的データに基づいて論理的に考察することができる。

(関心・意欲・態度)

4. 修士論文につながる論理的な攻勢を持つ研究計画を示すことができる。

以 上